

## P F I 事業進捗状況等確認調書

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業・仮設店舗整備等事業（平成21年4月1日～平成22年3月31日 状況報告）

### 第1 法人の概要

法人名 ネオ戸塚サービス株式会社	代表者	代表取締役社長 三浦 英士
	所在地	横浜市西区北幸2-8-19
	電話	045-314-0811
設立年月日	平成14年7月23日	HPアドレス
事業期間	（始期）平成14年 7月 日（終期）平成22年3月31日（期間）8年	
資本金	9千万円	

## 第2 主要な事業内容

横浜市と締結した戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業・仮設店舗整備等事業契約に基づき行う主な業務は以下のとおり。

- ① 設計業務
- ② 建設業務
- ③ 工事管理業務
- ④ 施設運営業務
- ⑤ 日常点検業務
- ⑥ その他業務

## 第3 経営状況

### 1 平成21年度決算

#### (1) 進捗状況報告

※平成21年度の主要な事業の実施内容について記載してください。

本年度は、仮設店舗の運営、管理業務の最終年度となり、維持管理業務の実施、販売促進支援業務の実施、出店者会の事務局業務の実施を行ってまいりました。尚、業務の実施については、出店者および横浜市と連携を密にとり、仮設店舗の運営、管理業務の遂行にいたしました。

#### 4. 平成21年度に実施した業務は次のとおりです

再開発ビルの工事期間中、権利者の営業継続を確保する。

当地区商店街の活気ある継続を図る。

#### 5. 運営業務

##### 1) 全体管理（平成21年度に開催した会議）

総会 1回

出店者会役員会 12回

#### 6. 販売促進支援業務

##### 1) 出店者会事務局として、出店者会費の代理徴収し、館内の装飾およびイベントを提案しました。

3月 スプリング装飾 12月 クリスマス装飾

6月 周年際装飾 1月 正月装飾・ファイナルセール

8月 サマー装飾

4・5・7・9・10・11月 通年装飾

経営相談会・階別意見交換会 12回

事務連絡会 12回

2) 外部催事、自動販売機および、求人広告ラックを設置による収入によってイベントを実施しました。

イベント（クリスマスフェア・ファイナルセール）の実施

出店者催事の実施・外部催事の実施

折込チラシの実施（毎月末 木曜日朝刊）

3) 教育・研修および、経営相談業務を行いました。

8. 維持管理業務

出店者及び一部横浜市負担によって、今年度も引き続き維持管理業務を行いました。

9. その他

出店者会事務局として、役員会ニュースの発行などの業務を行いました。

各個店のヒアリングを随時行いました。

(2) 財務諸表

別紙参照

財務状況推移

(単位：千円)

		H18	H19	H20	H21
損益計算書	売上高	21,362	518,014	96,002	102,963
	経常利益	▲1,122	7,706	6,143	8,665
	当期利益	▲1,311	5,336	4,428	6,271
貸借対照表	総資産	143,649	148,862	155,024	149,899
	総負債	55,907	55,784	57,519	52,625
	純資産	87,742	93,078	97,505	97,274

(3) 監査報告書

別紙参照

# 貸借対照表

(平成22年 3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	円		円
流動資産	149,899,164	流動負債	52,624,592
現金預金	127,310,357	未払金	50,266,350
売掛金	9,709,950	未払法人税等	1,739,300
立替金	24,807	未払消費税	618,942
未収入金	12,854,050		
		負債合計	52,624,592
		純資産の部	
		株主資本	
		資本金	90,000,000
		利益剰余金	
		利益準備金	650,160
		繰越利益剰余金	6,624,412
		利益剰余金合計	7,274,572
		株主資本合計	97,274,572
		純資産合計	97,274,572
資産合計	149,899,164	負債及び純資産合計	149,899,164

## 損 益 計 算 書

自 平成21年 4月 1日

至 平成22年 3月 31日

	円	円
I. 売 上 高		102,963,854
II. 売 上 原 価		85,359,639
		17,604,215
売上総利益		
III. 販売費及び一般管理費		9,204,431
営業利益		8,399,784
IV. 営業外収益		
受取利息	55,825	
雑収入	209,190	265,015
経 常 利 益		8,664,799
V. 特別利益		
備品売却益	350,000	
特別利益合計		350,000
税引前当期純利益		9,014,799
法人税、住民税及び事業税		2,744,254
当期純利益		6,270,545

## 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成 21年 4月 1日

至 平成 22年 3月 31日

ネオ戸塚サービス株式会社

円

	株 主 資 本					純資産合計
	資本金	利 益 剰 余 金			株主資本 合計	
		その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
		利益 準備金	繰越 利益剰余金			
前期末残高	90,000,000		7,505,627	7,505,627	97,505,627	97,505,627
当期変動額						
剰余金の配当			▲ 6,501,600	▲ 6,501,600	▲ 6,501,600	▲ 6,501,600
利益準備金の積立		650,160	▲ 650,160	0	0	0
当期純利益			6,270,545	6,270,545	6,270,545	6,270,545
当期変動額合計		650,160	▲ 881,215	▲ 231,055	▲ 231,055	▲ 231,055
当期末残高	90,000,000	650,160	6,624,412	7,274,572	97,274,572	97,274,572

注 記 表

自 平成 21年 4月 1日  
至 平成 22年 3月 31日

ネオ戸塚サービス株式会社

1 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税に相当する額の会計処理は税抜方式によっている。

2 株主資本等変動計算書関係

(1) 事業年度末日における発行済株式の種類及び数

種類：普通株式 18百株

(2) 配当に関する事項

当期事業年度中の配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (円)	一株当たりの 配当金額 (円)	基準日	効力発生日
平成21年5月26日 定時株主総会	普通株式	6,501,600	3.612	平成21年3月31日	平成21年5月27日

- 3 平成14年9月26日に横浜市と締結した、「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業 仮設店舗整備等事業」に関する契約（PFI事業）の計画に基づいて、平成22年3月31日をもって事業を終了し、平成22年8月に清算する予定です。

# 附属明細書

(会社法435条の2項の附属明細書)

自 2009年 4月 1日

至 2010年 3月 31日

ネオ戸塚サービス株式会社

## 1.販売費及び一般管理費の明細

(単位:円)

科目	金額	概要
福利厚生費	2,748	
外注費	21,000	
通信費	697,113	
事務用品費	144,379	
修繕費	246,143	
水道光熱費	499,588	
諸会費	1,200,000	
支払手数料	81,367	
リース料	476,900	
保険料	2,502,703	
支払報酬	1,031,482	
貸借料	2,276,530	
租税公課	24,480	
計	9,204,431	

独立監査人の監査報告書


平成22年5月24日

ネオ戸塚サービス株式会社


代表取締役 三浦英士 殿

仰 星 監 査 法 人

代表社員 公認会計士  
業務執行社員

山崎 清孝 

代表社員 公認会計士  
業務執行社員

野々 裕生 

当監査法人は、ネオ戸塚サービス株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第8期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。この財務諸表及びその附属明細書の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表及びその附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表及びその附属明細書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該財務諸表及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

個別注記表に記載のとおり、会社は横浜市と締結した「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業仮設店舗整備等事業」に関する契約（PFI事業）の計画に基づいて、平成22年3月31日をもって事業を終了し、平成22年8月に清算する予定である。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

#### 第4 所管局による全般評価

事業面	<p>平成20年度と同様に、仮設店舗の維持管理業務、販売促進支援業務、出店者会の事務局業務等について、民間ノウハウを活用した円滑な商業運営等が図られました。</p> <p>また、各店舗と市の関係では、仮設店舗の運営主体として、地元権利者と市との良好な関係を保つ役割に寄与しました。</p>
財務面	<p>当初の計画通り推移しており、問題はない。</p>
その他	<p>当事業は平成22年3月31日をもって終了しています。</p>

# P F I 事業進捗状況等確認調書

## 横浜市下水道局改良土プラント増設・運営事業

(平成21年4月1日～平成22年3月31日 状況報告)

### 第1 法人の概要

法人名 横浜改良土センター株式会社		代表者	代表取締役社長 伊藤純逸
		所在地	横浜市鶴見区末広町1-6-8
		電話	045-502-3745
設立年月日	平成15年5月20日	HPアドレス	<a href="http://www.hamakairyoudo.co.jp/">http://www.hamakairyoudo.co.jp/</a>
事業期間	(始期) 平成16年1月5日 (終期) 平成26年3月31日 (期間) 10年		
資本金	30,000千円		

## 第2 主要な事業内容

横浜市と締結した横浜市下水道局改良土プラント増設・運営事業契約に基づき行う主な業務は以下のとおり。

- ① 増設計画業務
- ② 増設設計業務
- ③ 増設建設業務
- ④ 運営業務
- ⑤ 維持管理業務

## 第3 経営状況

### 1 平成21年度決算

#### (1) 進捗状況報告

※平成21年度の主要な事業の実施内容について記載してください。

#### ①増設計画業務

平成15年12月26日増設部分の市への引渡しにより完了した。

#### ②増設設計業務

平成15年12月26日増設部分の市への引渡しにより完了した。

#### ③増設建設業務

平成15年12月26日増設部分の市への引渡しにより完了した。

#### ④運営業務

運営業務計画書に基づき運営を行った。

平成21年度の改良土出荷実績は127,821m<sup>3</sup>となった。市からの焼却灰購入実績は6,570.4tとなった。平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）財務状況は、売上高374,704千円となり、経常利益1,441千円となった。

#### ⑤維持管理業務

維持管理として、日常点検、定期点検、定期設備補修及び部品交換点検（月次、年次）及び定期整備をおこない、記録については所定の書式を定めた。

#### (2) 財務諸表

## 比較貸借対照表

【単位：千円】

科 目	H22. 3. 31	H21. 3. 31	差 引	科 目	H22. 3. 31	H21. 3. 31	差 引
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	130,574	125,618	4,956	流動負債	120,823	118,273	2,550
現金及び預金	119,540	103,112	16,427	買掛金	22,532	22,450	81
製 品	9,732	10,659	△ 927	1年以内返済長期借入金	18,720	18,720	0
貯 蔵 品	1,302	1,326	△ 24	未払費用	30,752	22,457	8,294
未取入金	-	9,261	△ 9,261	前受金	45,897	54,259	△ 8,361
未収消費税等	-	1,258	△ 1,258	未払法人税等	1,382	385	997
				未払消費税等	1,538	-	1,538
固定資産	78,655	99,426	△ 20,771				
有形固定資産	-	-	0				
				固定負債	51,280	70,000	△ 18,720
無形固定資産	78,630	99,401	△ 20,771	長期借入金	51,280	70,000	△ 18,720
施設専用使用権	78,630	99,401	△ 20,771				
				負債の部合計	172,103	188,273	△ 16,169
投資その他の資産	25	25	0	(純資産の部)			
保証金	25	25	0	株主資本	37,126	36,772	353
				資本金	30,000	30,000	0
				利益剰余金	7,126	6,772	353
				利益準備金	3,150	3,150	0
				その他剰余金	3,976	3,622	353
				繰越利益剰余金	3,976	3,622	353
				純資産の部合計	37,126	36,772	353
資産の部合計	209,229	225,045	△ 15,815	負債及び純資産合計	209,229	225,045	△ 15,815

- (注) 1. 記載金額は千円未満切り捨てて表示しております。  
 2. 資本の部の前期は会社法改正に合わせ純資産の部として表記しております  
 3. 支配株主に対する短期金銭債務 33,612千円  
 4. 貸借対照表に計上した固定資産のほか自動車等の一部については、リース契約により使用しております。

## 比較損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 H21.4.1～H22.3.31	前年同期 H20.4.1～H21.3.31	差 引
【 売 上 高 】	374,704	352,211	22,492
【 売 上 原 価 】			
当期製品製造原価	312,733	298,660	14,072
合 計	312,733	298,660	14,072
売 上 総 利 益	61,971	53,551	8,419
【販売費及び一般管理費】	61,827	61,134	693
営 業 利 益	143	△ 7,582	7,726
【 営 業 外 収 益 】			
受 取 利 息	0	0	△ 0
雑 収 入	3,012	10,816	△ 7,803
合 計	3,012	10,816	△ 7,803
【 営 業 外 費 用 】			
支 払 利 息	1,714	2,123	△ 408
雑 損 失		3	△ 3
合 計	1,714	2,126	△ 411
経 常 利 益	1,441	1,107	334
税 引 前 当 期 純 利 益	1,441	1,107	334
法 人 税 等	1,087	180	907
当 期 純 利 益	353	927	△ 573

(注) 1. 記載金額は千円未満切り捨てて表示しております。

2. 支配株主との取引

①営業取引

仕入高

59,382千円

その他

208,660千円

## 株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:千円)

	株 主 資 本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
			利益準備金	繰越利益 剰余金		
平成21年3月31日残高	30,000	0	3,150	3,622	0	36,772
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	0	0	0	0	0	0
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立	0	0	0	0	0	0
当期純利益	0	0	0	353	0	353
自己株式の取得	0	0	0	0	0	0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	0	0	0	0	0	0
事業年度中の変動額	0	0	0	353	0	353
平成22年3月31日残高	30,000	0	3,150	3,976	0	37,126

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合 計	
平成21年3月31日残高	0	0	36,772
事業年度中の変動額			
剰余金の配当	0	0	0
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立	0	0	0
当期純利益	0	0	353
自己株式の取得	0	0	0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	0	0	0
事業年度中の変動額	0	0	353
平成22年3月31日残高	0	0	37,126

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

財務状況推移

(単位：千円)

		H18	H19	H20	H21
損益計算書	売上高	426,421	405,406	352,211	374,704
	経常利益	24,300	41,753	1,107	1,441
	当期利益	13,773	20,636	927	353
貸借対照表	総資産	363,351	312,223	225,045	209,229
	総負債	316,643	258,378	188,273	172,103
	純資産	46,708	53,845	36,772	37,126

(3) 監査報告書

監 査 報 告 書

私たち監査役は、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第8期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適性に表示しているものと認めます。

平成22年4月16日

横浜改良土センター株式会社

監査役 原島 章良



監査役 大賀 隆宏



#### 第4 所管局による全般評価

事業面	<p>事業については、事業提案内容通り、運營業務計画書及び維持管理仕様書を事業開始年度の1か月前までに提出し、プラントの運営及び維持管理の体制の確認を行い、適切なプラント運営を遂行している。</p> <p>また、土質試験や粒度試験を行うなど、改良土の品質確保も努めている。</p> <p>さらに、事業提案書の内容に基づく、SPCの販売活動の努力により、今後、改良土需要の増大が見込まれ等、下水汚泥焼却灰の一層の有効利用を積極的に取り組んでおり、今後の動向を注視したい。</p>
財務面	<p>SPCの財務状況について、第8期は、平成21年4月1日から平成22年3月31日までを対象として行った。</p> <p>第8期の売り上げは、374,704千円となっており、経常利益は、1,441千円、税引き後の当期利益は、353千円であった。</p> <p>経常利益及び当期純利益とも黒字であり、概ね、順調であると認められる。</p> <p>事業提案書の内容に基づく、SPCの販売活動の努力により、今後、改良土需要の増大が見込まれ、今後の動向を注視したい。</p>
その他	

## P F I 事業進捗状況等確認調書

横浜市立十日市場小学校整備事業（平成21年4月1日～平成22年3月31日 状況報告）

### 第1 法人の概要

法人名 十日市場スクールサービス株式会社		代表者	代表取締役 佐藤秀樹
		所在地	横浜市西区みなとみらい 3-6-3
		電話	045-227-5944
設立年月日	平成17年4月20日	HPアドレス	なし
事業期間	(始期) 平成17年9月30日 (終期) 平成32年3月31日 (期間) 14年6ヶ月		
資本金	10,000千円		

## 第2 主要な事業内容

横浜市と締結した横浜国立十日市場小学校整備事業契約に基づき行う主な業務は以下のとおり。

- ① 設計変更業務
- ② 校地設計業務
- ③ 工事監理業務
- ④ 建設業務
- ⑤ 維持管理業務

## 第3 経営状況

### 1 平成21年度決算

#### (1) 進捗状況報告

※平成21年度の主要な事業の実施内容について記載してください。

#### 維持管理業務

平成21年度の維持管理業務は滞りなく完了しました。維持管理売上高及び維持管理原価は平成20年度と同額であり経常利益は2,549千円となりました。経常利益は平成20年度比450千円の減少となりましたが、消費税について簡易課税から一般課税に変更となり、簡易課税適用による差益の計上がなくなったことによるものです。

※業務内容 添付の年間計画表（設備系）（清掃系）参照

## (2) 財務諸表

貸借対照表

十日市場スクールサービス株式会社

平成22年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	659,729,716	I 流動負債	82,424,905
現金預金	26,166,045	買掛金	14,235,060
売掛金	18,330,057	1年以内返済予定長期借入金	52,203,448
割賦債権	608,201,799	未払金	2,520,000
前払費用	59,690	未払費用	3,646,600
未収収益	6,972,125	未払消費税	1,619,500
		未払法人税等	612,600
		割賦未実現利益	7,587,697
II 固定資産	2,417,436	II 固定負債	556,720,189
(投資その他の資産)		長期借入金	556,720,189
長期前払費用	2,417,436		
		負債合計	639,145,094
		純資産の部	
		科 目	金 額
		I 株主資本	23,002,058
		資本金	10,000,000
		利益剰余金	13,002,058
		その他利益剰余金	13,002,058
		繰越利益剰余金	13,002,058
		純資産合計	23,002,058
資産合計	662,147,152	負債・純資産合計	662,147,152

# 損益計算書

十日市場スクールサービス株式会社

自 平成21年 4月1日 至 平成22年 3月31日

(単位:円)

I	売上高		
	割賦売上高	50,673,963	
	維持管理売上高	<u>34,914,396</u>	85,588,359
II	売上原価		
	割賦原価	50,041,773	
	維持管理原価	<u>27,114,400</u>	77,156,173
	売上総利益		<u>8,432,186</u>
III	販売費及び一般管理費		4,876,520
	営業利益		<u>3,555,666</u>
IV	営業外収益		
	受取利息	14,276,041	
	雑収入	<u>66,100</u>	14,342,141
V	営業外費用		
	支払利息	13,842,357	
	金融関連費用	1,464,112	
	雑損失	<u>41,350</u>	15,347,819
	経常利益		<u>2,549,988</u>
	税引前当期純利益		<u>2,549,988</u>
	法人税、住民税及び事業税		855,300
	当期純利益		<u><u>1,694,688</u></u>

# 株主資本等変動計算書

十日市場スクールサービス株式会社

自 平成21年 4月1日 至 平成22年 3月31日

(単位：円)

	株主資本					純資産 合計	
	資本金	利益剰余金			株 資本 合計		
		利 益 準備金	その他利益 剰余金				利 益 剰余金 合計
			繰 越 利 益 剰余金				
平成21年3月31日残高	10,000,000	0	11,307,370	11,307,370	21,307,370	21,307,370	
事業年度中の変動額							
当期純利益			1,694,688	1,694,688	1,694,688	1,694,688	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				0	0	0	
事業年度中の変動額合 計	0	0	1,694,688	1,694,688	1,694,688	1,694,688	
平成22年3月31日残高	10,000,000	0	13,002,058	13,002,058	23,002,058	23,002,058	

# 個別注記表

十日市場スクールサービス株式会社

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 割賦取引に係る収益及び費用の計上基準

割賦取引に係る収益及び費用の計上基準については、回収期限到来基準によっております。

### (2) 長期前払費用の償却方法

金融機関からの借入金残高の積数に従って償却しております。

### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## II. 貸借対照表に関する注記

### (1) 担保提供資産

担保に供している資産	預金	26,166,045 円
	売掛金	18,330,057 円
	割賦債権	608,201,799 円
	未収収益	6,972,125 円

### 担保権によって担保されている債務

1年以内返済予定長期借入金	48,775,838 円
長期借入金	517,844,963 円

### (2) 関係会社に対する金銭債務

短期金銭債務	19,888,313 円
長期金銭債務	38,875,226 円

## III. 損益計算書に関する注記

### 関係会社との取引高

仕入高	27,114,400 円
その他の営業取引高	4,150,000 円
営業外取引高	1,469,891 円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式総数 普通株式 100 株

V. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の原因は未払事業税であります。その全額について評価性引当額を認識しているため、貸借対照表には計上しておりません。

VI. 関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社	大成建設株式会社	39% (4%)	事務委託業務契約の締結	事務委託費の支払	4,150,000 円	未払金	1,837,500 円
			劣後融資契約の締結 役員の受入れ	借入金利息の支払	1,469,891 円	未払費用	388,143 円
その他の関係会社	株式会社東急コミュニティー	30%	㈱東急コミュニティー・㈱大成サービス維持管理共同企業体への維持管理費の支払 役員の受入れ	維持管理費の支払	27,114,400 円	買掛金	14,235,060 円

- (注) 1. 関連当事者が有する議決権割合の ( ) 内は間接被所有割合で内数であります。  
 2. 取引内容に記載の㈱大成サービスはその他の関係会社の子会社であります。  
 3. 取引金額は消費税抜きの金額で、期末残高は消費税込みの金額で表示しております。  
 4. 取引条件及び取引条件の決定方針等  
 当社と関連を有しない他の会社と同様の条件によっております。

## VII. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については銀行借入による方針です。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 22 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

単位：円

勘定科目名	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金預金	26,166,045	26,166,045	0
(2) 売掛金	18,330,057	18,330,057	0
(3) 割賦債権	608,201,799	644,316,989	36,115,190
(4) 買掛金	(14,235,060)	(14,235,060)	0
(5) 長期借入金（一年以内返済予定長期借入金を含む）	(608,923,637)	(634,078,177)	△ 25,154,540

負債に計上されているものについては、( )で示しております。

### 注. 金融商品の時価の算定方法に関する事項

#### (1) 現金預金及び(2) 売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

#### (3) 割賦債権

割賦債権の時価は、元利金の合計額を、回収期日までの期間及び信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しております。

#### (4) 買掛金

買掛金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

#### (5) 長期借入金（一年以内返済予定長期借入金を含む）

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借り入れを行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(追加情報)

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 平成20年3月10日)及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日)を適用しております。

VIII. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 230,020円58銭  
(2) 1株当たり当期純利益 16,946円88銭

財務状況推移

(単位：千円)

		H18	H19	H20	H21
損益計算書	売上高	0	1,493,386	84,399	85,588
	経常利益	△15,416	31,824	2,999	2,549
	当期利益	△15,486	26,319	2,518	1,694
貸借対照表	総資産	2,383,657	801,502	710,455	662,147
	総負債	2,391,188	782,713	689,148	639,145
	純資産	△7,530	18,788	21,307	23,002

(3) 監査報告書


独立監査人の監査報告書

平成 22 年 6 月 11 日

十日市場スクールサービス株式会社  
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員 公認会計士  
業務執行社員

星長 徹也 

当監査法人は、会社法第 436 条第 2 項第 1 号の規定に準じて、十日市場スクールサービス株式会社の平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの第 5 期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。この計算書類及びその附属明細書の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監 査 報 告 書

平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第5期事業年度の計算書類、附属明細書の監査について、次のとおり報告します。なお、当社は「会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」に基づき、監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定するとみなされるため、監査役は事業報告を監査する権限がありません。

### 1. 監査の方法及びその内容

会計帳簿その他会計に関する重要な文書を読覧し、また、当社の取締役から会計に関する職務の執行状況等について報告を受け、監査を行いました。

### 2. 監査の結果

計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しております。

平成22年6月14日

十日市場スクールサービス株式会社

監査役 山 本 篤



#### 第4 所管局による全般評価

事業面	期間中における維持管理業務について、各種日常の保守点検及び定期保守点検等は確実に実行されており、問題ないとする。
財務面	問題ないとする。
その他	

# P F I 事業進捗状況等確認調書

横浜市立科学技術高校（仮称）整備事業

（平成21年4月1日～平成22年3月31日 状況報告）

## 第1 法人の概要

法人名 横浜サイエンスサポート株式会社		代表者 代表取締役社長 岩森耕一
		所在地 横浜市中区本町4-43
		電話 045-228-6061
設立年月日	平成17年11月29日	HPアドレス
事業期間	(始期) 平成17年12月27日 (終期) 平成33年3月31日 (期間) 17年	
資本金	10,000千円	

## 第2 主要な事業内容

横浜市と締結した横浜市立科学技術高校（仮称）整備事業特定事業契約に基づき行う主な業務は以下のとおり。

- ① 設計業務
- ② 建設業務
- ③ 工事監理業務
- ④ 施設管理業務
- ⑤ 食堂運営業務および附帯事業
- ⑥ その他業務

## 第3 経営状況

### 1 平成21年度決算

#### (1) 進捗状況報告

#### ①設計業務

平成17年12月より設計に着手し、設計協議を経て平成19年3月に設計完了した。

#### ②建設業務

平成19年3月より建設に着手し、平成20年12月に引渡しを完了した。

#### ③工事監理業務

平成19年3月より工事監理を開始し、平成20年12月に完了した。

————— 平成20年度まで完了済 —————

#### ④施設管理業務

平成20年12月に施設管理業務を開始した。

平成21年4月に学校が開校し、建物・設備・植栽等の維持管理、修繕業務を実施した。

平成21年度末において、学校運営に支障となる事象の発生はなく、モニタリングの結果も良好で、規定どおりのサービス対価の支払がなされている。

# 日常点検業務

区分		数量	実施者	回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 建築物保守管理業務	建築物															
	日常保守点検		設備業務担当者	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	定期保守点検	仕様書に基づく	設備業務担当者	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2. 建築設備保守管理業務	定期保守点検業務															
	①電気設備															
	中央監視設備点検	監視ポイント44点			1年保証期間中のため次年度より点検											
	自動ドア点検	4面			1年保証期間中のため次年度より点検											
	機械設備	仕様書に基づく	ALSOX	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	法定点検・調査・検査															
	自家用電気工作物保守管理		KES	12回/年	4/23	5/26	6/26	7/24	8/28	9/29	10/26	11/27	12/28	1/26	2/26	3/26
	受変電設備点検	2,000kVA	KES	1回/年					8/23							
	エレベータ点検	4基	日立ELV機	12回/年	定期点検	5/27	定期点検	定期点検	8/24	定期点検	定期点検	11/20	定期点検	定期点検	2/25	定期点検
	防塵シャッター	防火捲揚機	丸一防炎機	1回/年					8/18							
	非常通報装置保守点検業務			1回/年					8/18							
②機械設備	定期保守点検業務															
	空調機保守点検	2F室外機・室内機		1回/年	1年保証期間中のため次年度より点検											
	3F室外機・室内機			2回/年	1年保証期間中のため次年度より点検											
	受水槽清掃及び水質検査	上水用40t	KES・新日本水研	1回/年					8/15							
	中水槽清掃	浄所・貯水用20t	KES	1回/年					8/20							
	中水槽の水質検査	水質検査室6面(水試験・濁度)	新日本水研	6回/年		5/25		7/14		9/20		11/17		1/27		3/3
	プールの水質検査	7月(6項目)、8月(6項目・異項目)	新日本水研	2回/年				7/27	8/13							
	プール循環ポンプ点検(ろ過機)		東西化学工業	2回/年				8/11		9/18						
	中水循環ポンプ点検(ろ過機)		東西化学工業	2回/年				8/11		9/18						
	食堂設備グリストラップ清掃	100L	協栄商事	2回/年					8/16							2/20
	食堂設備グリストラップ廃棄物処理	23kg	協栄商事	2回/年					8/16							2/20
	食堂設備ガス設備保守点検		東京ガス保守設備業務センター	1回/年					8/10							
	食堂設備送排風機保守点検		設備業務担当者	2回/年					8/25							2/20
	加圧給水ポンプ点検		設備業務担当者	12回/年	4/6	5/6	6/9	7/12	8/29	9/2	10/6	11/6	12/5	1/6	2/5	3/4
	換気扇・空調機吸出口点検		設備業務担当者	1回/年					8/16							
	空調機フィルター清掃	室内機4台、LLフィルター7枚	設備業務担当者	2回/年					7/22~8/7						2/1~3/6	
	高性能フィルター交換作業	359枚	設備業務担当者	1回/年					-						-	
	食堂フィルター清掃	24枚(50×50cm)	設備業務担当者	2回/年					8/20							2/20
	ホール床換気吸込口清掃	78箇所	清掃業務担当者	1回/年												2/28
	法定点検・調査・検査															
	消防設備点検	仕様書に基づく	丸一防炎機	2回/年					8/14							2/28,3/7
	特殊建築物定期報告		協栄商事・ホーム	1回/年					8/20							
③付帯設備	定期保守点検業務															
	グラウンド砂補充・体育砂場砂補充	グラウンド面積 4,465㎡		1回/5年												
	雨水利用設備保守点検(雨水貯留槽)		設備業務担当者	2回/年		5/22			8/30			11/29				2/27
	雨水利用設備清掃		設備業務担当者	1回/2年												
④付帯その他	法定点検・調査・検査															
	教室等の空気測定		神港部	6回/年		5/20		7/18		9/19		11/21		1/23		3/20
	ホルムアルデヒド測定		神港部	1回/年					8/15							
	環境衛生保守点検		施設物環境衛生管理技術者	1回/年	4/20	5/20	6/20	7/20	8/20	9/28	10/26	11/20	12/20	1/21	2/22	3/27
	簡易専用水道検査		施設部検査	1回/年						9/28						
⑤福祉・外構維持管理業務	(1)保守点検業務		設備業務担当者	12回/年	4/15	5/15	6/15	7/27	8/29	9/28	10/26	11/20	12/20	1/21	2/22	3/26
	(2)剪定業務	仕様書に基づく	田口園芸	1回/年							10/11~12					
	(3)害虫防除		田口園芸					7/12		8/23						
	(4)施肥		田口園芸	指定なし		5/23										
	(5)除草		設備・警備担当	随時												2/18
	(6)灌漑	緑地面積 ㎡2,630㎡	設備・清掃担当	2回/年	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時

## ⑤食堂運營業務および附帯事業

運営にあたっては衛生管理に特に注意を払い、日常点検や従業員の消化器系検査を実施し、良好な状態を保持するよう努めた。

食堂については、利用者の意見を反映してメニューを増やし、価格および量の見直しを随時実施した。売店では、パン・おにぎり・飲料・アイスクリーム・菓子を充実させた。

21年度の日平均利用状況については、食堂が109人、売店が69人である。

## ⑥その他業務

記載事項はない。

## (2) 財務諸表

貸借対照表

平成22年 3月31日 現在

横浜インポート 株式会社

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	6,502,146,222	【流動負債】	621,332,433
現金及び預金	104,392,525	買掛金	37,445,836
売掛金	63,464,963	1年内返済予定長期借入金	506,751,393
P F I 資産	6,276,237,430	未払金	1,575,000
前払費用	1,185,302	未払費用	25,869,704
未収利息	54,968,914	未払法人税等	21,505,400
繰延税金資産	1,897,088	未払消費税	28,185,100
【固定資産】	84,000	【固定負債】	5,840,755,057
【投資その他の資産】	84,000	長期借入金	5,840,755,057
長期前払費用	84,000	負債の部合計	6,462,087,490
【繰延資産】	3,332,970	純 資 産 の 部	
開業費	3,332,970	【株主資本】	43,475,702
		資本金	10,000,000
		利益剰余金	33,475,702
		その他利益剰余金	33,475,702
		繰越利益剰余金	33,475,702
		純資産の部合計	43,475,702
資産の部合計	6,505,563,192	負債及び純資産合計	6,505,563,192

## 損 益 計 算 書

自 平成21年 4月 1日  
至 平成22年 3月31日

横浜フーズ株式会社

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
割 賦 売 上 高	519,226,055	
業 務 受 託 収 入	121,604,243	
売 上 高 合 計		640,830,298
【売上原価】		
割 賦 売 上 原 価	516,365,050	
業 務 受 託 原 価	71,325,402	
そ の 他 営 業 原 価	1,230,000	
合 計	588,920,452	
売 上 原 価		588,920,452
売 上 総 利 益 金 額		51,909,846
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		6,981,639
営 業 利 益 金 額		44,928,207
【営業外収益】		
受 取 利 息	208,571	
雑 収 入	2,700,200	
受 取 割 賦 利 息	112,088,009	
営 業 外 収 益 合 計		114,996,780
【営業外費用】		
支 払 利 息	106,910,723	
開 業 費 償 却	888,792	
営 業 外 費 用 合 計		107,799,515
経 常 利 益 金 額		52,125,472
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		52,125,472
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		21,930,600
法 人 税 等 調 整 額		-1,859,394
当 期 純 利 益 金 額		32,054,266

## 株主資本等変動計算書

自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

横浜サイエンスサポート株式会社

(単位：円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
		繰越利益剰余金		
前期末残高	10,000,000	1,421,436	11,421,436	11,421,436
事業年度中の変動額				
当期純利益金額		32,054,266	32,054,266	32,054,266
事業年度中の変動額合計	—	32,054,266	32,054,266	32,054,266
当期末残高	10,000,000	33,475,702	43,475,702	43,475,702

### 個別注記表

横浜サイエンスサポート株式会社

#### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 資産の評価基準及び評価方法  
PFI資産：個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）  
によっております。  
なお、PFI資産には弁護士費用、融資手数料及び建築期間中の金利等を含めて計上しております。
2. 施設の売却によって発生した施設整備収入については割賦基準（回収期限到来基準）を採用しております。
3. 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。  
なお、控除対象外消費税等は、全額当期の費用として処理しております。
4. 繰延資産の処理方法  
開業費は業務開始から5年間での償却としております。

#### 【株主資本等変動計算書に関する注記】

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数  
普通株式 200株

#### 財務状況推移

(単位：千円)

		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
損益計算書	売上高	0	0	25,277	640,830
	経常利益	▲2,014	▲2,015	6,982	52,125
	当期利益	▲1,537	▲1,428	4,730	32,054
貸借対照表	総資産	435,947	279,984	7,225,610	6,505,563
	総負債	427,827	273,293	7,214,189	6,462,087
	純資産	8,120	6,691	11,421	43,476

(3) 監査報告書

独立監査人の監査報告書

平成22年5月10日

横浜サイエンスサポート株式会社


取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

宗和暢三 

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に準じて、以下に掲げられている横浜サイエンスサポート株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第5期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。この計算書類及びその附属明細書の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査報告書

私は、当社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第5期事業年度の貸借対照表、損益計算書、事業報告書、株主資本等変動計算書及び個別注記表、並びに附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

以上

平成22年5月21日

横浜サイエンスサポート株式会社

監査役

荒井美浩 

#### 第4 所管局による全般評価

事業面	横浜サイエンスサポート株式会社により、建物・設備・植栽等の維持管理、修繕業務が順調に行われ、学校を運営するにあたって特段問題が発生することはなかった。
財務面	平成21年度は開校初年度ということもあることから、今後の財務状況の推移を見守りたい。
その他	特になし

## P F I 事業進捗状況等確認調書

横浜市環境創造局北部汚泥資源化センター消化ガス発電整備事業（平成20年6月16日  
～平成22年3月31日 状況報告）

### 第1 法人の概要

法人名 株式会社 bay eggs		代表者	代表取締役社長 沖田 悟
		所在地	横浜市鶴見区末広町2-1 (JFEテクノス㈱内)
		電話	045-505-6568
設立年月日	平成20年 6月 16日	HPアドレス	
事業期間	(始期) 平成20年8月29日 (終期) 平成42年3月31日 (期間) 22年		
資本金	30,000千円		

## 第2 主要な事業内容

横浜市と締結した横浜市環境創造局北部汚泥資源化センター消化ガス発電整備事業事業契約書に基づき行う主な業務は以下のとおり。

- ① 設計業務
- ② 建設業務
- ③ 工事管理業務
- ④ 常用消化ガス発電施設運營業務
- ⑤ 日常点検業務
- ⑥ その他業務

## 第3 経営状況

### 1 平成21年度決算

#### (1) 進捗状況報告

※平成21年度の主要な事業の実施内容について記載してください。

#### ①設計業務

平成20年8月に事業契約締結に伴い設計着手。

工事進捗に併せて詳細設計を順次実施し、平成21年6月に設計完了。

#### ②建設及び工事管理業務

平成21年1月 現地工事着手。

平成21年2月 既設40号エンジン撤去

新4,5号エンジン工場出来形確認

平成21年3月 新4,5号エンジン現地搬入

平成21年6,7月 試運転実施

平成21年8月 4,5号エンジンの部分完了検査合格、部分商用運転開始。

既設10～30号エンジン撤去

新1～3号エンジン現地搬入

平成21年11月 試運転実施

平成21年12月 1～3号エンジンの完了検査合格、全面商用運転開始。

④運營業務

(1) 取引実績

年月	取引電力量(kWh)	備考
平成21年8月	809,371	4,5号機による部分商用運転 ※更新工事期間中につきペナルティ条項適用なし
平成21年9月	1,066,850	
平成21年10月	1,033,492	
平成21年11月	1,077,383	
平成21年12月	1,429,888	
平成22年1月	2,822,271	工事完了による全面商用運転 ※事業契約の要求水準達成(ペナルティの発生なし)
平成22年2月	2,544,690	
平成22年3月	2,730,790	

(2) 定期点検

平成21年9月 4,5号機 1000hr点検

平成21年10月 4,5号機 1000hr点検

平成21年12月 4,5号機 1000hr点検

平成22年2月 5号機 4000hr点検、1,3号機 1000hr点検

平成22年3月 4号機 4000hr点検、2号機 1000hr点検

(3) 平成21年度 総運転時間(試運転時間を含む)

1号機	2号機	3号機	4号機	5号機
2,352 時間	2,408 時間	2,466 時間	5,433 時間	5,379 時間

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成22年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>	121,712,164	<b>【流動負債】</b>	71,962,569
現金及び預金	94,809,673	1年以内返済長期借入金	33,982,500
売掛金	24,781,800	未払金	23,215,357
前払費用	1,528,620	未払費用	5,299,390
繰延税金資産	592,071	未払法人税等	6,822,800
		未払消費税等	2,642,522
		<b>【固定負債】</b>	1,050,281,669
		長期借入金	1,041,017,500
		繰延税金負債	9,264,169
		<b>負債の部合計</b>	1,122,244,238
		<b>純資産の部</b>	
<b>【固定資産】</b>	1,060,635,498	<b>【株主資本】</b>	46,957,895
<b>【投資その他の資産】</b>	1,060,635,498	資本金	30,000,000
長期前払費用	1,038,225,800	資本剰余金	30,000,000
ヘッジ会計	22,409,698	資本準備金	30,000,000
		利益剰余金	△13,042,105
		その他利益剰余金	△13,042,105
		繰越利益剰余金	△13,042,105
		<b>【評価・換算差額等】</b>	13,145,529
		繰延ヘッジ損益	13,145,529
		<b>純資産の部合計</b>	60,103,424
<b>資産の部合計</b>	1,182,347,662	<b>負債及び純資産の部合計</b>	1,182,347,662

損益計算書

自 平成21年 4月 1日 至 平成22年3月31日

(単位:円)

科目	金額
<b>【売上高】</b>	
売上高	2,369,285,786
<b>【売上原価】</b>	
売上原価	2,327,856,527
売上総利益	41,429,259
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	
販売費及び一般管理費合計	5,219,233
営業利益	36,210,026
<b>【営業外費用】</b>	
支払利息	8,235,089
雑損失	10,100,097
営業外費用合計	18,335,186
経常利益	17,874,840
税引前当期純利益	17,874,840
法人税、住民税及び事業税	6,822,800
法人税等調整額	△ 592,071
当期純利益	11,644,111

株主資本等変動計算書  
自 平成21年 4月 1日 至 平成22年3月31日

(単位:円)

【株主資本】				
資本金	前期末残高			30,000,000
	当期末残高			30,000,000
資本剰余金				
資本準備金	前期末残高			30,000,000
	当期末残高			30,000,000
資本剰余金合計	前期末残高			30,000,000
	当期末残高			30,000,000
利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	前期末残高		△24,686,216	
	当期変動額	当期純利益		11,644,111
	当期末残高			△13,042,105
利益剰余金合計	前期末残高		△24,686,216	
	当期変動額	当期純利益		11,644,111
	当期末残高			△13,042,105
株主資本合計	前期末残高		35,313,784	
	当期変動額	当期純利益		11,644,111
	当期末残高			46,957,895
評価・換算差額等	前期末残高		0	
	当期変動額	繰延ヘッジ損益		13,145,529
	当期末残高			13,145,529
純資産の部合計	前期末残高		35,313,784	
	当期変動額	当期純利益		11,644,111
		繰延ヘッジ損益		13,145,529
	当期末残高			60,103,424

財務状況推移

(単位：千円)

		H18	H19	H20	H21
損益計算書	売上高			0	2,369,285
	経常利益			△24,551	17,874
	当期利益			△24,686	11,644
貸借対照表	総資産			918,987	1,182,347
	総負債			883,673	1,122,244
	純資産			35,314	60,103

(3) 監査報告書

独立監査人の監査報告書

平成22年6月14日

株式会社 bay eggs  
取締役会 御中

公認会計士 野間事務所

公認会計士

野間 武志

私は、会社法第436条第2項第1号の規定に準じて、株式会社 bay eggs の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第2期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。この計算書類及びその附属明細書の作成責任は経営者にあり、私の責任は独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監査報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第2期事業年度における取締役の職務の執行に関して、以下の通り報告いたします。

## 1. 監査の方法およびその内容

監査役は、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告およびその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書および個別注記表）およびその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類およびその附属明細書の監査結果

計算書類およびその附属明細書は、会社の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成22年5月19日

株式会社 bay eggs

監査役 吉野 浩史

第4 所管局による全般評価

事業面	<p>維持管理・運營業務に対して、総合的なモニタリングを行った結果、電力及び温水の供給等は適正に行われ、業務目標は達成した。</p> <p>ガスエンジンについては、従来のエンジンよりも効率が良く、それによって、余った消化ガスの消費にも積極的に取り組んでいた。</p> <p>一方、平成21年8月7日に一期工事で4・5号機が供用開始し、平成21年12月21日に二期工事で1・2・3号機が供用開始し、900kW、5台の消化ガスPFI事業の商用が始まった。今年度は、初期トラブルとして、ガスエンジンのステップ不調やエンジンの部分失火が度々発生するなど、その対応に努力していた。ステップの不調等一部改善が見られるが十分ではないため、引き続き改善を進め、消化ガス発電の安定運転に努めていただきたい。</p>
財務面	<p>財務状況について、株主資本の利益剰余金が約1千3百万円マイナスとなっているが、このことは事業提案内容に基づいており来年度以降は設備の維持管理運営の継続によりプラスに転じる計画とのことである。今後の動向を注視したい。</p> <p>収支状況については、消化ガス発電設備の更新建設工事完了による収益、及び維持管理運営期間開始に伴い電力温水供給による収益によって、当期純利益が1千1百万円超となっており概ね順調と認められる。</p>
その他	なし

## P F I 事業進捗状況等確認調書

横浜市瀬谷区総合庁舎及びニッ橋公園整備事業

(平成21年4月1日～平成22年3月31日 状況報告)

### 第1 法人の概要

法人名	グリーンファシリティーズ瀬谷株式会社	代表者	代表取締役 石橋 正孝
		所在地	横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号
		電話	045-650-5400
設立年月日	平成20年10月21日	HPアドレス	-
事業期間	(始期) 平成20年12月16日 (終期) 平成38年3月31日 (期間) 約18年		
資本金	30,000千円		

## 第2 主要な事業内容

横浜市と締結した横浜市瀬谷区総合庁舎及び二ツ橋公園整備事業 事業契約に基づき行う主な業務は以下のとおり。

- ① 設計業務
- ② 建設業務
- ③ 工事監理業務
- ④ 公会堂・庁舎施設運營業務
- ⑤ 日常点検業務
- ⑥ 食堂・売店運營業務

## 第3 経営状況

### 1 平成21年度決算

#### (1) 進捗状況報告

##### ①設計業務

平成20年12月より基本設計に着手。設計協議を経て平成21年12月実施設計が完了した。

##### ②建設業務

平成22年1月より公会堂建設に着手し、平成22年10月公会堂の引渡しに向けて建設工事中です。

##### ③工事監理業務

##### ④公会堂・庁舎施設運營業務

平成22年11月の公会堂供用開始に向け関係各所と協議開始。

⑤、⑥は未実施。

## 損 益 計 算 書

自 平成21年 4月 1日  
至 平成22年 3月31日

グリーンファシリティーズ瀬谷株式会社

(単位： 円)

科 目	金 額
【販売費及び一般管理費】	
販売費及び一般管理費合計	117,215
営業損失金額	117,215
【営業外収益】	
受 取 利 息	5,117
営業外収益合計	5,117
【営業外費用】	
支 払 利 息	64,687
創 立 費 償 却	98,200
その他の営業外費用	1
営業外費用合計	162,888
経 常 損 失 金 額	274,986
税引前当期純損失金額	274,986
法 人 税 等	180,000
法人税等調整額	-112,387
当期純損失金額	342,599



## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 繰延資産の処理方法

創立費は5年以内で均等償却しています。

#### (2) 消費税等の処理方法

消費税及び地方消費税は税抜方式によっております。

### 2. 貸借対照表に関する注記

#### (1) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

長期借入金 85,000 千円

未払利息 64 千円

### 3. 損益計算書に関する注記

#### (1) 関係会社との取引高

仕入高 36,231 千円

支払利息 64 千円

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

当事業年度末 普通株式 600 株

### 5. 税効果会計に関する注記

#### (1) 繰延税金資産の発生の主な原因は繰越欠損金であります。

### 6. 金融商品に関する注記

#### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、事業契約に基づく事業の実施のため必要な資金を主に大和リース㈱から調達しております。長期借入金については固定金利での調達を基本としております。

#### (2) 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日(当事業年度の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
①現金及び預金	19,910	19,910	—
②未収入金	0	0	—
①未払金	( 378 )	( 378 )	—
②長期借入金	( 85,000 )	( 90,197 )	5,197

(注)1. 負債に計上されているものについては、( )で示しております。

### 資産

#### ①現金及び預金、②未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## 負債

### ①未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

### ②長期借入金

長期借入金については、元利金の合計額を借入期間に応じた利率で割り引いた現在価値により算定しております。

## 7. 関連当事者との取引に関する注記

### (1) 親会社及び法人主要株主等

(単位:千円)

属性	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	大和リース㈱	直接 73.33%	PFI事務委託 役員の兼任	PFI事務委託	36,231	買掛金	0
				料支払い			
				資金の借入	85,000	借入金	85,000
				利息の支払	64	未払利息	64

#### (注)①取引条件及び取引条件の決定方針等

市場実勢を勘案し、価格交渉の上で決定しております。

#### ②上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

期末残高には消費税等が含まれております。

## 8. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 48,498.31円

(2) 1株当たり当期純損失 571.00円

# 附属明細書

## 販売費及び一般管理費の明細

平成21年4月1日～平成22年3月31日

グリーンファシリティーズ瀬谷株式会社

(単位:円)

科目名	金額	
諸手数料	90,215	払込手数料他
事務用品費	4,000	名刺代
顧問料	10,000	税務報酬
租税公課	3,000	印紙代
電算機費	10,000	勘定奉行保守料
合 計	117,215	

(3) 監査報告書

独立監査人の監査報告書

平成 22 年 5 月 20 日

グリーンファンリティーズ瀬谷株式会社

取締役会 御中



村井公認会計士事務所

公認会計士

村井一雅



私は、会社法第 436 条第 2 項第 1 号の規定に基づき、グリーンファンリティーズ瀬谷株式会社の平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 5 月 31 日までの第 2 期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びその附属明細書について監査を行った。この計算書類及びその附属明細書の作成責任は経営者であり、私の責任は独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

#### 第4 所管局による全般評価

事業面	<p>設計段階においては、基本及び実施設計終了時に要求水準書との差異をチェックするための集計リストを作成し、市とSPCとの間で計画を進める上で意識が統一されるよう配慮していた。</p> <p>施工段階においては、近隣住民への配慮を忘れず、工事説明会やビラの配布を行い周知に努めていた。また、近隣からの苦情に対しても迅速に対応するなど、工事が順調に進むよう努めている。</p> <p>運営面に関しては、10ヶ月前から適切な運営が行われるよう事前準備に努め、市との打合せを定例的に行っている。</p>
財務面	<p>S P Cの財務状況について、第2期は、平成21年4月1日から平成22年3月31日までを対象として行った。</p> <p>未成工事支出金として、89,986,540円を資産計上している。提案からは、初期投資額として137,916,000円が計上されており、本来この数字が計上されるはずである。ただし、適正なモニタリングの下に業務が進められていること等を勘案すると、業者への支払のズレ等の理由により提案時より少ない金額が計上されているものと想定される。これらは建設期間中の当期において特段大きな問題ではないと考える。</p> <p>なお、未収入金があるが、受取利息の一部が未回収のままとなっているものと考えられ、これについても問題はない。</p>
その他	なし



## 第2 主要な事業内容

横浜市と締結した川井浄水場再整備事業事業契約書に基づき行う主な業務は以下のとおり。

- ① 事前調査業務
- ② 設計業務
- ③ 工事業務
- ④ 工事監理業務
- ⑤ 周辺調査業務・電波障害等対策業務
- ⑥ 浄水場施設維持管理業務

## 第3 経営状況

### 1 平成21年度決算

#### (1) 進捗状況報告

##### ①事前調査業務

平成21年度4月より事前調査開始、平成22年3月に報告書提出。

##### ②設計業務

平成21年度4月より基本設計に着手。設計協議を経て、平成22年3月に基本設計完了した。

##### ③工事業務

平成21年8月より既設構造物の撤去工事業務開始、平成22年7月撤去完了。

##### ④工事管理業務

平成21年9月、土壌汚染調査にて基準値を超える鉛を検出。汚染した土壌を処分するため、9月から11月に一時工事中断。処分費については、水道局と協議の上、別途支出で対応することとなった。

##### ⑤周辺調査業務・電波障害等対策業務

平成21年7月より周辺影響調査、電波障害調査、生活環境影響調査開始、平成22年3月に報告書提出。

##### ⑥ 浄水場施設維持管理業務

特になし。

## 貸借対照表

平成22年 3月31日 現在

ウォーターネクスト横浜 株式会社

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	389,067,442	【流動負債】	429,943,250
現金及び預金	44,953,201	買掛金	339,795,750
売掛金	131,250	未払金	87,713,851
PFI資産仮勘定	337,445,000	未払費用	20,978
前払費用	25,200	未払法人税等	180,000
未収入金	6,512,091	預り金	2,232,671
仮払金	700	負債の部合計	429,943,250
【固定資産】	39,622,590	純 資 産 の 部	
【投資その他の資産】	39,622,590	【株主資本】	-1,253,218
差入保証金	39,538,590	資本金	100,000,000
長期前払費用	84,000	利益剰余金	-101,253,218
		その他利益剰余金	-101,253,218
		繰越利益剰余金	-101,253,218
		純資産の部合計	-1,253,218
資産の部合計	428,690,032	負債及び純資産合計	428,690,032

## 損 益 計 算 書

自 平成21年 4月 1日  
至 平成22年 3月31日

ウォーターネクスト横浜 株式会社

(単位: 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
そ の 他 収 入	125,000	
売 上 高 合 計		125,000
【売上原価】		
そ の 他 原 価	115,000	
合 計	115,000	
売 上 原 価		115,000
売 上 総 利 益 金 額		10,000
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		99,414,075
営 業 損 失 金 額		99,404,075
【営業外収益】		
受 取 利 息	16,658	
営 業 外 収 益 合 計		16,658
経 常 損 失 金 額		99,387,417
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		99,387,417
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		180,000
当 期 純 損 失 金 額		99,567,417

## 株主資本等変動計算書

自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

(単位：円)

	株主資本			純資産合計	
	資本金	利益剰余金			株主資本合計
		その他利益剰余金	繰越利益剰余金		
平成21年3月31日残高	100,000,000	△ 1,685,801	98,314,199	98,314,199	
事業年度中の変動額					
当期純損失金額		△ 99,567,417	△ 99,567,417	△ 99,567,417	
事業年度中の変動額合計		△ 99,567,417	△ 99,567,417	△ 99,567,417	
平成22年3月31日残高	100,000,000	△ 101,253,218	△ 1,253,218	△ 1,253,218	

### 個別注記表

#### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 資産の評価基準及び評価方法  
PFI資産仮勘定：個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。
2. 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。  
なお、控除対象外消費税等は、全額当期の費用として処理しております。

#### 【株主資本等変動計算書に関する注記】

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数  
普通株式 200株

#### 財務状況推移

(単位：千円)

		H20	H21
損益計算書	売上高	0	125
	経常利益	-1,655	-99,387
	当期利益	-1,685	-99,567
貸借対照表	総資産	98,348	428,690
	総負債	34	429,943
	純資産	98,314	-1,253

(3) 監査報告書

独立監査人の監査報告書

平成22年6月15日

ウォーターネクスト横浜株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

糸和 暢三



当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に準じて、以下に掲げられているウォーターネクスト横浜株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第2期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。この計算書類及びその附属明細書の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

#### 第4 所管局による全般評価

事業面	<p>当調査の対象期間は、PFI事業契約の初年度にあたることから、事前調査業務が中心であった。</p> <p>当該業務の履行状況については、事業契約書、業務要求水準書、事業者提案に示された水準を持たしており、特段問題はないものと考えている。</p>
財務面	<p>資金調達等財務面に関して特段問題はないと考えている。</p>
その他	

## P F I 事業進捗状況等確認調書

横浜市 戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業

(平成22年6月23日～平成22年8月31日 状況報告)

### 第1 法人の概要

法人名 アートプレックス戸塚株式会社		代表者 代表取締役社長 加藤哲郎
		所在地 横浜市西区北幸町1-4-1天理ビル
		電話 03-6865-3038 (連絡先)
設立年月日	平成22年4月5日	HPアドレス —
事業期間	(始期) 平成22年6月23日 (終期) 平成39年3月31日 (期間) 約17年	
資本金	50,000千円	

## 第2 主要な事業内容

横浜市と締結した戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業  
事業契約に基づき行う主な業務は以下のとおり。

- ①設計に関する業務
- ②建設に関する業務
- ③工事監理業務
- ④維持管理業務
- ⑤運営業務
  - (1) 区民文化センター管理運営・事業実施業務
  - (2) 第2 交通広場管理運営業務
  - (3) 駐車場管理運営業務
  - (4) 第2 自転車駐車場管理運営業務
  - (5) 食堂運営業務
  - (6) 多目的スペース管理運営業務
  - (7) 店舗運営業務
  - (8) その他市が認める付帯事業（売店、自動販売機等の利便機能の設置等）

## 第3 経営状況

### 1 平成21年度決算

#### (1) 進捗状況報告

※施工段階につき、事業内容の進捗状況は以下の通り。

#### ①設計に関する業務

- ・平成22年6月23日事業契約締結後、設計協議に速やかに移行、基本設計に着手し順調推移している。基本設計は9月末に完了の予定。

#### ②建設に関する業務

- ・9月中旬より事前調査業務を開始する予定。
- ・着工時期等、施工スケジュールについて市と協議中。

(2) 財務諸表

平成22年度より事業開始につき、平成21年度決算なし。

(3) 監査報告書

平成22年度より事業開始につき、平成21年度決算なし。

#### 第4 所管局による全般評価

事業面	<p>本公益施設は、区役所、区民文化センター、第2交通広場、第2自転車駐車場など様々な施設が複合化し、調整部署も多い事業となっているが、平成22年6月23日の事業契約締結後、設計内容についての定期的な設計協議や、施設ごとの設計協議を適宜行うなど、平成22年9月末の基本設計完了に向け、順調に設計業務を行っているところである。</p> <p>今後も、平成25年3月からの供用開始（区民文化センターは平成25年9月）に向けて、設計・建設業務をスケジュール通り進めていきたい。</p>
財務面	<p>— （平成22年度より事業開始につき、平成21年度決算なしのため）</p>
その他	<p>—</p>